攻めの知財とNPE活用：日本企業における知財戦略の転換点

NPE活用と「攻めの知財」を巡る主な論点

休眠特許の収益化と新陳代謝



休眠特許を現金化し再投資へ回す。

海外プロパテント潮流への対抗



「侵害した者勝ち」の風潮を抑止。

乱訴・レピュテーションの懸念



悪質トロールの乱訴や反訴を懸念。

日米韓3カ国における知財訴訟環境の構造差

	米国	韓国	日本
			
懲罰的損害賠償	最大3倍（三倍賠償）	最大5倍	制度なし（検討中）
NPE・法制環境の特徴	訴訟件数年3,200～4,500件。約半数がNPE原告 	官民共同NPE（ID社）設立など圏策で権利保護を強化 	訴訟件数年110～150件。東京地裁でNPE勝訴例も登場 

日本型「攻めの知財エコシステム」構築への3アプローチ

戦略技術での特許プール組成

複数企業で特許を束ねリスク分散。



ガバナンス付き日本版NPE育成

自社取引先を撃たない規律の付与。



知財評価KPIの構造転換

保有件数から収益貢献評価へ転換。



Gemini Notebook